

## 構文的重複語の中国語訳について

馮 一峰・藤田 航輝

### 【キーワード】

構文的重複語、典型性、中国語訳、翻訳調査、翻訳方略

### 【要旨】

中国語において観察されない日本語表現の一つに構文的重複語（女の子の子した/している）がある。このような表現を翻訳する際はそれに近い意味の表現が用いられると予想される。そこで本稿では、構文的重複語の翻訳調査と回答結果の分析を行い、検証を試みた。2022年6月、日本語能力の高い中国人学習者を対象にアンケート調査を実施したところ、回答者が示した中国語訳において重複表現は用いられず、構文的重複語に近い意味を持つ様々な表現が用いられていた。また、分析を行ったところ、原文の構文的重複語の語基となっている名詞の種類によって翻訳時に用いられる表現が異なる可能性が示唆された。本稿の最後には、分析結果を整理し、構文的重複語の語基となっている名詞が「モノを表さない名詞」の場合における翻訳時の方略、「モノを表す名詞」の場合における翻訳時の方略を提示し、それらを選択する際の判断基準についての考察を行った。

### 1. はじめに

日本語にも中国語にも名詞重複語や動詞重複語などの重複語があり、それについての研究も多くある<sup>1</sup>。

- |     |          |             |
|-----|----------|-------------|
| (1) | a. 山々、人々 | 田村（1991：41） |
|     | b. 泣く泣く  | 田村（1991：41） |
| (2) | a. 人人    | 石（2010：110） |
|     | b. 看看、听听 | 石（2010：110） |

---

<sup>1</sup> 青木（2009）、清海（2020）、熊谷（1973）、晋（2005）、田村（1991）、程（2020）、原野（1989）、丁（1999）、吕（2014）、石（2010）、王（1985）、赵（1979）、朱（1982、1997）などを参照。

日本語では、「XX した/している」の形をとる構文的重複語<sup>2</sup>が観察される。それに対し、中国語では、似たような構文的重複語が観察されない。

- (3) a. このスープ、野菜野菜してるね。 小野 (2015 : 463)  
 b. とても女の子の子した女の子 小野 (2015 : 470)
- (4) a. \*这个汤蔬菜蔬菜着<sup>3</sup>。  
 b. \*非常女孩儿女孩儿着的女孩儿

(3) に示すように、日本語の構文的重複語の語基となっているのは、主に名詞であり、語基の重複は、「した/している」が付加する場合のみ容認される。(4) は筆者が直訳したものである<sup>4</sup>。(4) に示すように、“XX 着”の形をとる構文的重複語は、中国語において容認されない。したがって、日本語の構文的重複語を中国語に訳す場合、直接訳すことはできないと考えられる。

直接訳すことができない場合、少なくとも二つの選択肢があると考えられる。一つ目は、省略して訳さないことである。二つ目は、なるべく近い意味を持つ表現を用いて訳すことである。(3) において構文的重複語は述語または連体修飾として用いられるので、省略して訳すことが難しい。したがって、構文的重複語を中国語に訳す場合、可能な限り近い意味を持つ表現を用いて訳す必要があると考えられる。

本稿は、構文的重複語を中国語に訳す場合、どのような表現を用いたらよいかについて翻訳調査を通じて考察していく。第2節では、先行研究を踏まえて構文的重複語の意味的特徴を概観する。第3節では、翻訳調査の概要をまとめ、調査の結果を提示し、分析を行う。第4節では、本稿の結論をまとめる。

## 2. 先行研究

小野 (2015 : 480) はスケール構造による分析を行い、構文的重複語が段階的な性質を持つ修飾語として解釈されることを示した。また、オノマトペ重複語との類似性を指摘しつつ独自のスケール構造を提案し、被修飾語となる名詞が語基となる名詞と同一のものであってもなくても、構文的重複語の形をとることで語基の表す意味・属性がより一般的に想定される標準に近いものとなることを説明できると主張した。定延 (2015 : 355) は、構文的重複語について、非オノマトペの完全反復型動詞と捉えながらも、小野 (2015 : 486) と同様にオノマトペとの類似性を指摘している。しかし同時

<sup>2</sup> 本稿においても小野 (2015 : 465) の定義に則り、「XX した/している」の形をとるものを構文的重複語と呼称する。

<sup>3</sup> 本稿では、「\*」は、非文法的であることを表す。

<sup>4</sup> 日本語の「している」に対応する中国語には、“正在”や“着”などのような表現はあるが、(3a) における「している」は状態を表しているため、訳文は“着”で対応している。また、(3b) における「した」は状態の継続を表しているため、訳文は同じく“着”で対応している。

に、「アンコアンコしている」などの例については単純に「量が多い」ことに起因する表現であるとし、いわゆる「典型」以外の解釈ができる可能性を示唆している。徐（2016：154）は「XXした/している」の形をとる表現についてコーパス調査を行った結果、「子供」や「女の子」のような人の年齢や身分に関する名詞が語基となっている例が多くみられることを明らかにした。徐（2016：156）は擬態語的な意味を表す名詞の重複語表現として捉えており、小野（2015：486）、定延（2015：355）の見解と一致する。

大塚（2020：16）は、構文的重複語が「ぼい」「らしい」と類似していることを指摘し比較を行った。また、語基となる名詞が「モノを表す名詞」であるとき、食品の例を挙げて量的な「最大値」を表しうると主張した。例えば、「たまごたまごしている W 玉子サンド」であれば、サンドイッチに含まれるたまごの量は、話者の想定とは関係なく絶対的に最大限の分量が含まれているということになる。それに対し、藤田・馮（近刊）は、モノを表す名詞が語基となった構文的重複語が比較の格助詞「より」と共起することから、「たまごたまごしている」は話者の想定する基準と比較してたまごが多く含まれているという意味となり、必ずしも量的に最大値を表さないという見解を示した。さらに、食べ物を表す名詞に焦点を当て、それが語基となった構文的重複語の表す意味について、その食べ物の特徴をどの器官で強く感じとるかによって解釈が分かれることを示唆した（表1）。

表1 食べ物を表す名詞が語基となる構文的重複語の解釈の分類と判断基準

a. 視覚情報からの判断	その食べ物を想起させる色や形状、食べ物の一部または全部が見えているなど、外見からその食べ物が話者の想定する基準値よりも多く含まれていると判断できるもの。 例：たまごたまごしているサンドイッチ
b. 味覚情報からの判断	その食べ物特有の味が強く感じられるもの。 例：アンコアンコしているあんパン
c. 嗅覚情報からの判断	その食べ物を想起させる香りが強く感じられるもの。 例：いちごいちごしている香水

藤田・馮（近刊）

構文的重複語に関する先行研究では、その成り立ちや形式、生産性や意味について議論がなされてきたが、上記のいずれにおいても翻訳に関する議論はなされていない。そこで本稿では、中国語を母語とする日本語学習者に対する翻訳調査を実施し、藤田・馮（近刊）が提示した意味解釈に基づいた分析を行う。

### 3. 翻訳調査及び分析結果

#### 3-1 調査方法

本稿は、まず日中対訳コーパス（BJSTC）を用いて構文的重複語の中国語訳について調査を試みたが、構文的重複語の用例は 1 例も確認できなかった（2022 年 6 月 15 日）。このため、中国語を母語とする日本語学習者を対象にアンケート<sup>5</sup>による翻訳調査を行った。

#### 3-2 調査概要

2022 年 6 月 16 日～同年 6 月 23 日までの期間、“腾讯问卷”上での Web アンケート調査を行った。設問は藤田・馮（近刊）の構文的重複語についての容認度調査<sup>6</sup>の中で「使える」「どちらかという使える」の回答数の合計が「使えない」「どちらかという使えない」のそれを上回った 12 例のうちの 11 例<sup>7</sup>と回答者が提供してくれた容認度の高い用例 5 個に基づいて作成したものである（文脈にすこし修正を加えたものがある）。設問数は 16 問（回答者の氏名や出身地等を問う項目は除く）、回答方法はすべて自由記述式であり、回答は任意とした。翻訳調査の設問内容は表 2 の通りである。

表 2 翻訳調査の設問

設問番号	構文的重複語
7	私は女の子の子した女が好きだ。
8	このスープ、野菜野菜してるね。
9	お店の店主は、すごく大阪大阪したおばちゃんだった。
10	女の子の子した男の子がいる。
11	このあんパンはアンコアンコしすぎて自分にはダメだ。
12	オンナオンナしていないから、男性も油断しがちだ。
13	すっかり男っ臭くなっちゃまって・・・昔はあんなに子供子供してたのに。
14	筋肉ムキムキの男男した男は好まない。

<sup>5</sup> 今回の調査では、“腾讯问卷”上での Web アンケート調査を採用した。

<sup>6</sup> 藤田・馮（近刊）は、2022 年 3 月 10 日～同年 3 月 31 日までの期間、構文的重複語の容認度調査を目的として Google フォーム上での Web アンケート調査を行った。設問数は 70 問で、小野（2015）、定延（2015）、徐（2016）、大塚（2020）から引用したものと作例したものからなる。それぞれの構文的重複語について、「使える」「どちらかという使える」「どちらともいえない」「どちらかという使えない」「使えない」の 5 段階で回答してもらい、その回答を基に容認度の高さの判定を行った。回答結果は（[https://docs.google.com/forms/d/18H2WeTDcFUg57Fa5WwbIicT6W3\\_RG19PS81eR7DPRFk/viewanalytics](https://docs.google.com/forms/d/18H2WeTDcFUg57Fa5WwbIicT6W3_RG19PS81eR7DPRFk/viewanalytics)）を参照されたい。

<sup>7</sup> 「これこれしている」という例について、藤田・馮（近刊）のアンケート調査において文脈が提示されていなかったため、本稿では翻訳が困難であると判断し対象外とする。

15	たまごたまごしてるサンドイッチを分けてもらった。
16	いちごいちごしてるハーゲンダッツはおいしい。
17	オネエオネエしてるほうが好みだ。
18	いかにも子供子供した大人がいて驚いた。
19	いかにも男男した女はかっこいい。
20	メイクがラメラメしてて可愛い。
21	女の子の子しているみたいな服着れるようになりたい。
22	彼の走りは馬馬している。

### 3-3 翻訳調査の結果<sup>8</sup>

#### 3-3-1 回答者情報

翻訳調査を 500 名の Wechat グループ一つと筆者の知り合い 42 名に送ったが、得られた回答数は 25 名分であった。内訳としては女性の回答者が 15 名であった。年齢に関しては、20 代が最も多く、14 名であった。日本語学習歴については、21 名が 3 年以上の学習歴を持っており、全体の 84% を占めている。また、回答者のうち中国在住が 15 名、日本在住が 9 名、ノルウェー在住が 1 名である。日本語能力に関しては、N1 を持っている回答者が 18 名であり、全体の 72% を占めている。上級レベルの日本語能力を有している回答者が多いため、翻訳調査の結果はある程度信頼度が高いと考えられる。回答方法はすべて自由記述式なので、回答時間は通常のアンケート調査より長く、平均回答時間は 22 分 7 秒であった。

#### 3-3-2 翻訳調査において用いられた中国語の表現

この節では、翻訳調査において回答者が構文的重複語を中国語に訳すとき、具体的にどのような表現を用いたのかについて見ていく。翻訳調査において用いられた中国語の表現を表 3 にまとめた。

表 3 翻訳調査において用いられた中国語の表現<sup>9</sup>

設問番号	回答者が用いた表現	回数
7	(特別/很) 有/充满+N+感/様子/样 (儿) /味 (儿) +的	11
	N 感/味十足+的	2
	非常/特别/很+N+的	3
	N 一般+的	1

<sup>8</sup> 翻訳調査の結果の Excel ファイルを Google Drive で共有している。個人情報を守るために、回答者の氏名と連絡先を省略した。回答者の詳細ならびに回答結果は ([https://drive.google.com/drive/folders/1E0t96twifuvLVv0qKuwyIi0BYyvaZhKB?usp=share\\_link](https://drive.google.com/drive/folders/1E0t96twifuvLVv0qKuwyIi0BYyvaZhKB?usp=share_link)) を参照されたい。

<sup>9</sup> 明らかに誤訳であると判断できるものはカウントされていない。

	温婉柔情的/女孩子家家性格的/美好温柔的	3
8	(很)有+N+味道	1
	N感十足(呀)	1
	真的是+N+满满(呀)	1
	有+很多+N	3
	全/都+是+N(呀/呢)	4
	N挺多(啊)/N很丰富/(加了)很多N	4
	真鲜美/可真够素啊/好素啊/很健康很清淡	4
9	(特/很)有+N+范儿/特色/味/风格/风+的	5
	N味十足+的	1
	有+N+的+气质	1
	非常/很/特别+N+的	4
	非常幽默的	1
	(特别)典型的/非常地道的/地地道道的/大阪气息浓重的	7
10	(很)像+N(一样)+的	3
	有+N+感觉+的	1
	很/特别+N气+的	2
	很/特别+N+的	2
	N般+的	1
	娘娘腔的/阴柔秀气的/很娘的/太娘了/娘娘的/很母的/女性化的	10
11	N太/过多了	10
	全+是+N	2
	N感太强了	1
	太甜了/太浓郁了/太浓了/太腻了	5
12	没有+N+样(子)/味/气	4
	不够+N	1
	不像+N	2
	表现得很+N	1
	像个假小子似的大大咧咧的	1
13	像+N+一样	1
	小屁孩儿	1
	孩子气	7
	纯真可爱/可爱的/朝气蓬勃/纯真的/干净卫生/童真	9
14	(特)有+N+味+的	4
	N+味太重	2
	特别+N+的	1

	全+是+N+的	1
	(超级)肌肉男	5
	肌肉鼓鼓的彪形/肌肉太粗壮的/练出大块肌肉的/浑身肌肉块雄性味道十足的/肌肉发达的/肌肉过多的/肌肉丰满的/	7
15	全/满+是+N+的	5
	N+ (超/很/特别) 多+的	4
	N 满满的	3
	有+很多+N+的	1
	塞满/夹满+N+的	3
	N 味儿+的	1
16	(香浓/浓郁) N 味儿+的	10
	N 感/味+十足/浓厚/很重/很足+的	5
	全+是+N+的	1
	满满 N/N 满满的	2
	N 果肉十足+的	1
	加了很多 N+的	1
17	娘娘腔的/中性的/娘娘的	3
	偏+N 的	1
	特别+N+的	1
18	像+N+的	7
	(特别) +N 气+的	8
	幼稚/纯真/长不大	8
19	有+N+魅力/气/感觉/气质/味/气概+的	12
	特别+N+的	1
	很 MAN 的/很 A 的	2
	像+N (一样) +的	2
	中性的/男性化的/英气的/英姿飒爽的/非常帅气的/好飒好帅	6
20	闪闪亮亮/很闪亮/亮晶晶的/亮光闪闪/闪闪的/闪亮的/闪闪发光的/一闪一闪的/闪闪发亮的/闪亮闪亮的	14
21	有+N+模样/味+的	4
	N 气+的	2
	N 感十足+的	1
	像+N (一样)	4
	(特别) +N+的	2
	可爱的/精致的/小女孩儿的	3
22	像+N+ (一样/一般/似的)	9

跑得很快	5
像骏马一样飞快/快如飞马/很快, 像马一样	7

### 3-3-3 構文的重複語の中国語訳の特徴

表3に示すように、構文的重複語を中国語に訳すとき、様々な表現が用いられた。この節では、構文的重複語の中国語訳の特徴を考察していく。

まず、表3からわかるように、回答者全員が構文的重複語の文における意味を理解し、似たような意味を持つ中国語の表現で訳した。また、構文的重複語を中国語に訳すとき、“NN”、“NN 着”の形をとる表現を用いる回答者は一人もいなかった。これは中国語には構文的重複語がないことを裏付けていると考えられる。

次に、構文的重複語の語基となっている名詞の種類<sup>10</sup>によって回答者の訳には異なる傾向性を示している。翻訳調査の結果から見れば、「モノを表さない名詞」が語基となる構文的重複語を中国語に訳すとき、回答者の翻訳は三種類に分けることができる。一つ目は、名詞の表す意味の典型性を具体化せずに、その典型性を高める表現が用いられた翻訳である。

- (5) 私は女の子の子した女が好きだ。
- a. 我喜欢有女孩子样的女生。(私は女の子らしい女の子が好きだ。)<sup>11</sup>
  - b. 我喜欢非常女生的那种女生。(私は非常に女の子らしい女の子が好きだ。)
- (6) 彼の走りは馬馬している。
- a. 他奔跑的样子像骏马一样。(彼が走っている様子は馬のようだ。)
  - b. 他跑得像匹马。(彼が走っている様子は馬のようだ。)

(5) では、「女の子の子した」が連体修飾として名詞「女」を修飾している。ここで取り上げた(5a)と(5b)の訳例について、回答者は“有+N+样+的”、“非常+N+的”という表現を用いた。“有女孩子样的女生”は、修飾されている「女」が「女の子」の典型性を備えていることを表している。しかし、どのような典型性なのかについては明示していない。それと同じように、“非常女生的那种女生”は、修飾されている「女」が「女の子」の典型性を備えていることを表している。また、程度副詞の“非常”(非常に)と共に用いられていることによってその典型性は強調されている。しかし、どのような典型性なのかについては明示していない。これらの表現は名詞の表す意味の典型

<sup>10</sup> 大塚(2020)や藤田・馮(近刊)が主張するように、構文的重複語の語基となる名詞がモノを表す場合、量的に多いという意味を表すことができるが、それ以外の名詞が語基となる場合は量的に多いという意味を表すことはできない。本稿における翻訳調査の結果からも構文的重複語の語基となる名詞がモノを表すかどうかによって翻訳が異なっていた。そのため、本稿では、大塚(2020)や藤田・馮(近刊)の構文的重複語の語基となっている名詞の分類を踏襲し、「モノを表す名詞」と「モノを表さない名詞」という表現を用いる。

<sup>11</sup> 筆者による翻訳であり、日本語母語話者によって確認されている。



性を高めているので、構文的重複語を中国語に訳すときの適切な表現であると考えられる。

(6) では、「馬馬している」が述語として用いられている。ここで取り上げた (6a) と (6b) の訳例について、回答者は“像+N+ (一样)”という表現を用いた。“像+N+ (一样)”は、主語の「彼」の走りが馬に似ていることを意味している。つまり、主語の「彼」は「馬」の典型性を備えていることを表している。したがって、“像+N+ (一样)”は、構文的重複語を中国語に訳すときの適切な表現であると考えられる。しかし、(5) に用いられた表現と同じように、名詞の表す意味の典型性を具体化していない。

表3に示すように、典型性を高めるが、名詞の表す意味の典型性を具体化していない表現として“(特别/很)有/充满+N+感/样子/样(儿)/味(儿)+的”、“N 感/味十足+的”、“非常/特别/很+N+的”、“N 一般+的”、“(很)像+N (一样)+的”などがある。これらの表現は、構文的重複語を中国語に訳すときの適切な表現であると考えられる。

二つ目は、名詞の表す意味の典型性を具体化し、その典型性を高める表現が用いられた翻訳である。

- (7) 私は女の子の子した女が好きだ。  
 a. 我喜欢温婉柔情的女生。(私はやさしい女の子が好きだ。)  
 b. 我喜欢美好温柔的女生。(私はやさしい女の子が好きだ。)
- (8) 彼の走りは馬馬している。  
 他跑得很快。(彼は走るのが速い。)
- (9) お店の店主は、すごく大阪大阪したおばちゃんだった。  
 这家店的店主是一位非常幽默的阿姨。  
 (お店の店主は、すごくユーモアなおばちゃんだった。)

(7) と (9) では、「女の子の子した」、「大阪大阪した」が連体修飾として用いられており、(8) では、「馬馬している」が述語として用いられている。(7) と (8) と (9) の翻訳では、「女の子」、「馬」、「大阪」の典型性が具体化されている。「女の子」は「やさしい」という典型性を持っているので、回答者は“温婉柔情”(やさしい) や“美好温柔”(やさしい) などの形容詞を用いた。「馬」は「走るスピードが速い」という典型性を持っているので、回答者は“快”(速い) という形容詞を用いた。「大阪」は「ユーモアのある人が多い」という典型性を持っているので、回答者は“幽默”(ユーモア) という形容詞を用いた<sup>12</sup>。また、これらの形容詞は程度副詞の“很”(とても)

<sup>12</sup> 査読者より構文的重複語の語基となる名詞が「大阪」のような固有名詞の場合、その概念は日本文化を知らなければ、正確には理解できず、誤訳に繋がる恐れがあるとの指摘を受けた。本稿の調査においては、「大阪」の典型性を具体化して翻訳を行った回答者は25名中1名(中国在住)のみであったが、「大阪」の典型性を正確に捉えており、査読者の指摘を裏付けるものではなかった。しかしながら、回答者が日本在住か否かによって典型性を

や“非常”（非常に）と共に用いられることによって典型性がより一層高められている。したがって、これらの翻訳は適切なものであると考えられる。

三つ目は、前述した二種類の翻訳を融合したものである。本稿では、このような翻訳を「ハイブリッド翻訳」と呼称する。

(10) 彼の走りは馬馬している。

a. 他跑起来像骏马一样飞快。

(彼は走るのが飛ぶように速く、まるで馬のようだ。)

b. 他跑得很快，像马一样。(彼は走るのが速く、まるで馬のようだ。)

(10) の翻訳では、回答者は「彼」の走りが馬に似ていることを表す“像+马+一样”という表現を用いたのみならず、「馬」の「走るのが速い」という典型性を形容詞の“快”（速い）を用いて明示している。(10) の翻訳は、主語の「彼」が「馬」の「走るのが速い」という典型性を備えていることを表しており、その典型性を表す形容詞の“快”（速い）が“很”（とても）や“飞”（飛んでいるように）と共に用いられることによって高められているので、構文的重複語の中国語訳として適切なものであると考えられる。

ここまで、「モノを表さない名詞」が語基となる構文的重複語の中国語訳の特徴を見てきた。次に、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語の中国語訳の特徴を考察していく。

翻訳調査の結果から見れば、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語を中国語に訳すとき、回答者の翻訳も三種類に分けることができる。

一つ目は、「モノを表す名詞」の表すものの量が話者の想定した量を超えていることを意味する表現が用いられた翻訳である。

(11) このスープ、野菜野菜してるね。

a. 这汤里全是蔬菜呀。(このスープは野菜だらけだ。)

b. 这个汤里面有很多蔬菜。(このスープの中には野菜がたくさん入っている。)

c. 这个汤里面好多蔬菜哦。(このスープは野菜が多いね。)

(12) たまごたまごしてるサンドイッチを分けてもらった。

a. 他分给我了一块全是鸡蛋的三明治。

(彼は私にたまごだらけのサンドイッチを分けてくれた。)

b. 别人把有很多鸡蛋的三明治分给我了。

(他の人がたまごがたくさん入っているサンドイッチを分けてくれた。)

---

捉え方に差が出る可能性について、本稿は十分に考慮できていたとはいえないため、今後の研究に譲りたい。

- c. 分到了一份鸡蛋特别多的三明治。  
 (たまごが多いサンドイッチを分けてもらった。)

(11) では、「野菜野菜している」は述語として用いられており、(12) では、「たまごたまごしている」は連体修飾として「サンドイッチ」を修飾している。(11) と (12) の翻訳では、“全+是+N”、“有+很多+N”、“好/特别+多” が用いられている。“全+是+N” は、「～だらけ」を意味する表現であるので、(11a) と (12a) は、「野菜」や「たまご」の量が話者の想定した量を超えていることを表している。“有+N” は、「～がある」を意味する表現であり、形容詞句“很多”(とても多い) と共に用いられることによって「～がたくさんある」という意味を表すことできる。(11b) と (12b) は、「野菜」や「たまご」の量が多いことを意味し、程度副詞の“很”(とても) が用いられることによって量が多いことが強調されている。“好/特别+多” では、形容詞“多”(多い) が用いられているので、「野菜」や「たまご」の量が多いことを意味する。また、程度副詞の“好”(とても) や“特别”(とても) と共に用いられることによって量が多いことが強調される。これらの翻訳は、藤田・馮(近刊) が主張している「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語の意味的特徴と一致しているので、構文的重複語の中国語訳として適切なものであると考えられる。

(11) と (12) の翻訳から見れば、中国人日本語学習者が「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語を中国語に訳すとき、名詞の表すものの量が話者の想定した量を超えていると理解する人がいる。また、最大値を表す中国語の表現は用いられなかったので、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語はものの量は話者の想定した量を超えているが、最大値ではないと考えられる<sup>13</sup>。

二つ目は、「モノを表す名詞」の典型性を具体化し、その典型性を高める表現が用いられた翻訳である。

- (13) このスープ、野菜野菜してるね。  
 a. 这个汤好素啊。(このスープはあっさりしているね。)  
 b. 这个汤很健康很清淡。(このスープはあっさりしていて健康的だ。)

- (14) このあんパンはアンコアンコしすぎて自分にはダメだ。  
 a. 这个豆沙包真的太甜了我吃不了。  
 (このあんパンは甘すぎて私には食べられない。)

<sup>13</sup> 大塚(2020:16) は、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語は量的な「最大値」を表すと主張した。それに対し、藤田・馮(近刊) は、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語は量的な「最大値」を表していないと主張した。翻訳調査の結果は、藤田・馮(近刊) の主張を裏付けていると考えられる。

b. 这个豆沙面包太膩了，吃不下。

(このあんパンはたくさん食べると飽きてしまうので、これ以上食べられない。)

(13) と (14) の翻訳では、「野菜」、「アンコ」の典型性が具体化されている。「野菜」は「あっさりする」という典型性を持っているので、回答者は“素”（あっさりする）や“清淡”（あっさりする）などの形容詞を用いた。「アンコ」は「甘い」または「たくさん食べると飽きてしまう」という典型性を持っているので、回答者は“甜”（甘い）や“膩”（飽きる）などの形容詞を用いた。また、これらの形容詞は程度副詞の“很”（とても）、“好”（とても）、“太”（すごく）と共に用いられることによって形容詞が表している典型性がより一層高められている。したがって、これらの翻訳は適切なものであると考えられる。

三つ目は、「モノを表す名詞」の典型性を具体化せずに、その典型性を高める表現が用いられた翻訳である。

(15) いちごいちごしてるハーゲンダッツはおいしい。

a. 香浓草莓味哈根达斯很好吃。

(濃厚ないちご味のハーゲンダッツはとてもおいしい。)

b. 草莓味浓厚的哈根达斯很好吃。

(いちごの味が濃厚なハーゲンダッツはとてもおいしい。)

c. 草莓味很足的哈根达斯好吃。

(いちごの味が充分なハーゲンダッツはおいしい。)

(15) では、「いちごいちごしてる」が連体修飾として名詞「ハーゲンダッツ」を修飾している。ここで取り上げた訳例について、回答者は“香浓草莓味”、“草莓味浓厚的”、“草莓味很足的”という表現を用いた。いずれにおいても“草莓味”（いちご味）という表現が用いられている。この表現が用いられることによって「ハーゲンダッツ」は「いちご味」をしていることが表される。また、形容詞や形容詞句“香浓”（濃くて香りがいい）、“浓厚的”（濃厚）、“很足的”（十分足りている）と共に用いられることによって「いちご味」という典型性が強調される。これらの表現は名詞の表す意味の典型性を高めているので、構文的重複語を中国語に訳すときの適切な表現であると考えられる。

しかし、「いちご味」という典型性は具体的にどのようなものなのかについては明示されていない。

ここまで、構文的重複語の中国語訳の特徴を考察してきた。「モノを表す名詞」、「モノを表さない名詞」が語基となる構文的重複語を中国語に訳すとき、それぞれ三つの方略があると考えられる（表 4）。

表 4 構文的重複語の中国語翻訳における方略

「モノを表さない名詞」が語基となる構文的重複語	名詞の表す意味の典型性を具体化せずに、その典型性を高める表現を用いる。
	名詞の表す意味の典型性を具体化し、その典型性を高める表現を用いる。
	「ハイブリッド翻訳」を用いる。
「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語	名詞の表す意味の典型性を具体化せずに、その典型性を高める表現を用いる。
	名詞の表す意味の典型性を具体化し、その典型性を高める表現を用いる。
	モノの量が話者の想定した量を超えていることを意味する表現を用いる。

表 4 の構文的重複語の中国語翻訳における方略の一覧表から見れば、「モノを表す名詞」が語基となる構文的重複語は、「モノを表さない名詞」が語基となる構文的重複語が持っていない量的意味を表すことができる。これは、大塚（2020）、藤田・馮（近刊）の主張を裏付けていると考えられる。

しかし、構文的重複語を中国語に翻訳するとき、どのような場合どのような方略をとるのかは明らかではない。本稿は、これは少なくとも二つのことと関わっていると考えられる。

一つ目は、文脈において名詞が表す意味の典型性が示されているかどうかということである。文脈において名詞が表す意味の典型性が明らかに示されている場合、名詞の表す意味の典型性を具体化し、その典型性を高める表現を用いることまたは「ハイブリッド翻訳」を選択することが多いと考えられる。

- (16) 筋肉ムキムキの男男した男は好まない。
- a. 我不喜欢那种肌肉鼓鼓的彪形男人。  
(私は筋肉ムキムキで体格がいい男を好まない。)
  - b. 不喜欢肌肉丰满的男人。  
(私は筋肉ムキムキの男を好まない。)
  - c. 不喜欢肌肉发达有男人味的男人。  
(私は筋肉ムキムキで男味のある男を好まない。)
  - d. 不喜欢浑身肌肉块雄性味道十足的男人。  
(私は筋肉ムキムキで男らしい男を好まない。)

表 3 に示すように、(16) の例についての翻訳調査の結果では、適切な翻訳は 20 例

があり、(16)のような名詞の表す意味の典型性を具体化し、その典型性を高める表現が用いられた翻訳と「ハイブリッド翻訳」は12例があり、半分以上を超えている。

二つ目は、構文的重複語の語基となる名詞の表す意味の典型性が捉えられやすいかどうかということである。捉えられにくい場合、名詞の表す意味の典型性を具体化せずに、その典型性を高める表現を用いることが多いと予測することができる。しかし、構文的重複語の語基となる名詞の表す意味の典型性が捉えられやすいかどうかということは語基となる名詞の種類<sup>14</sup>に関連しているだけではなく、翻訳者の判断にも関連していると考えられる。翻訳者の判断には個人差があるため、捉えた典型性が異なることは十分あり得る。したがって、翻訳者によって選択する方略が異なることがあり、用いる表現も異なることがある。

#### 4. おわりに

本稿では、日本語の構文的重複語の中国語翻訳を検証するべく調査を実施した。中国語において同一の表現が観察されない以上、翻訳にあたっては構文的重複語に類似した意味表現が用いられると予想された。

第3章において比較的日本語能力の高い中国人日本語学習者を対象としたアンケート調査を実施し、最終的に25名からの回答を得ることができた。当初の予想通り、構文的重複語の翻訳文として重複語が産出されることはなく、類似した意味表現が用いられていたが、原文となった構文的重複語の語基となっている名詞の種類（その名詞がモノを表すか表さないか）によって、翻訳時に用いられる表現が異なることが判明した。

語基となっている名詞が「モノを表さない名詞」の場合、翻訳者は方略として、その名詞が示すものの典型性を翻訳文において具体化するかしらないか、あるいはその中間に位置するような表現を用いるかのいずれかを選択する。「モノを表す名詞」の場合も同様に、典型性を具体化するかしらないか、あるいはそのモノが話者の想定を超える量であることを表す表現を用いるかを選択していることがわかる。後者については、大塚（2020）や藤田・馮（近刊）において言及された構文的重複語の表す量的意味を裏付けるものであるともいえる。

翻訳者は文脈において、その名詞が表すものの典型性が明示されているかを判断し方略を選択するものと考えられるが、「典型性を捉える」という作業において、それを適切に行うことができるかどうかは名詞の意味以外に翻訳者の感性が関わるため、翻訳文に用いられる表現に多少の個人差が認められることは否めない。今後の調査においては、より多くのサンプル数を確保することで本稿において示された傾向をより確たるものとするができるだろう<sup>15</sup>。

<sup>14</sup> 査読者は、語基となる名詞が普通名詞か固有名詞かによって、典型性の捉えやすさが異なる可能性を示唆した。本稿における調査の結果からは、それらを読み取ることが困難であったが、その可能性は十分あると考えられる。

<sup>15</sup> ここに有益なコメントをいただいた査読者と調査回答者の方々に謹んで謝意を表したい。

## 参考文献

- 青木博史 (2009) 「動詞重複構文の歴史」『日本語の研究』5-2, 日本語学会, pp.1-15
- 大塚望 (2021) 「『重複語 (疊語) している／した』について—形容詞性接尾辞『ばい』『らしい』との比較—」『日本語日本文学』31, 創価大学日本語日本文学会, pp.11-29
- 小野尚之 (2015) 「構文的重複語形成—『女の子の子した女』をめぐって—」『語彙意味論の新たな可能性を探って』由本陽子・小野尚之 (編), 開拓社, pp.463-489
- 清海節子 (2020) 「日本語の疊語—名詞の疊語が表現する意味の可能性—」『駿河台大学論叢』60, 駿河台大学, pp.13-27
- 熊谷忠三郎 (1973) 『疊語の研究』創文社
- 定延利之 (2015) 「遂行的特質に基づく日本語オノマトペの利活用」『人工知能学会論文誌』30-1, 人工知能学会, pp.353-363
- 晋栄和 (2005) 「現代語疊語形容詞の語構造について: 「転成」との関連をめぐって」『東北大学文学部日本語学科論集』5, 東北大学文学部日本語学科, pp.49-60
- 徐一平 (2016) 「日本語の名詞が疊語の形で擬態的な意味を表す問題について—コーパスの役割も同時に考える—」『日本語・日本学研究』6, 東京外国語大学国際日本研究センター, pp.153-162
- 田村泰男 (1991) 「現代日本語における疊語について—数概念からみた疊語—」『広島大学留学生センター紀要』1, 広島大学留学生センター, pp.41-47
- 程莉 (2020) 『「重複」の文法的研究』ひつじ書房
- 原野亮子 (1989) 「疊語について」『九州大学留学生教育センター紀要』1, 九州大学留学生教育センター, pp.91-103
- 藤田航輝・馮一峰 (近刊) 「構文的重複語の再検討—日本語母語話者を対象とした容認度調査を通して—」『東アジア国際言語研究』4, 東アジア国際言語学会
- 丁声树 (1999) 《現代汉语语法讲话》商务印书馆
- 吕叔湘 (2014) 《中国文法要略》商务印书馆
- 石毓智 (2010) 《汉语语法》商务印书馆
- 王力 (1985) 《中国现代语法》商务印书馆
- 赵元任 (1979) 《汉语口语语法》商务印书馆
- 朱德熙 (1982) 《语法讲义》商务印书馆
- 朱德熙 (1997) 《现代汉语语法研究》商务印书馆

馮一峰 (北洋大学国際文化学部専任講師)  
藤田航輝 (北洋大学国際文化学部専任講師)